



「『神の宮』増浦行仁 写真展」を開催 史上初 伊勢神宮 出雲大社 奇跡の W 遷宮を世界へ発信

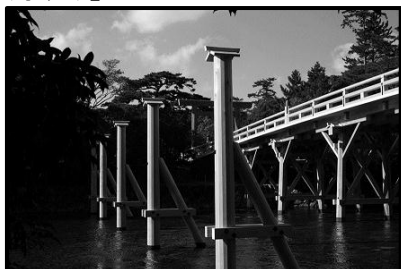
2014 年 1 月 7 日(火)から 20 日(月)の間、関西国際空港におきまして、「『神の宮』増浦行仁写真展」を下記のとおり開催します。

伊勢神宮と出雲大社の両遷宮を追い続けた唯一の写真家 増浦行仁氏が 7 年間かけて撮影してきた神事を、史上初めて同時に公開。日本の文化、自然の恩恵、神々への感謝と共に常若と蘇りの文化を伝えてきた遷宮を、日本の玄関口である関西国際空港から世界に向けて発信します。日本のルーツに触れる奇跡の写真展をぜひご覧ください。

記

- 名称
伊勢神宮 出雲大社 奇跡の W 遷宮「神の宮」増浦行仁写真展
- 開催日時
2014 年 1 月 7 日(火)～1 月 20 日(月)
(1 月 10 日(金)14 時～17 時に増浦行仁氏来場予定)
- 開催場所
関西国際空港 1F ウェルカムボード(映像)、2F KIX ギャラリー、4F 翼の広場
- 実施主体
主催: 「神の宮」展実行委員会、office MASUURA Inc.
共催: 新関西国際空港株式会社
協賛: 株式会社デザインオフィス ライン、ライカカメラジャパン株式会社
栄光時計株式会社、ワールド通商株式会社
有限会社 VAGRIE、神の宮共働態
協力: 日本航空株式会社、三井住友海上火災保険株式会社
フロンティアジャパン株式会社、株式会社同志舎
瀧株式会社、杭迫柏樹(「神の宮」題字)

【展示作品例(予定)】



= PRESS RELEASE =



伊勢神宮・出雲大社 奇跡のW遷宮
「神の宮」増浦行仁写真展

avec

デザインオフィスライン

循環型空間パネルシステムSIAN(紙庵)

史上二度目の奇跡、伊勢神宮の式年遷宮と出雲大社の大遷宮が重なった2013年。その偶然を必然と捉えた写真家・増浦行仁が7年間かけて両遷宮を撮影。日本のルーツに触れる奇跡の写真展。

遷宮に代表される日本古来の叡智を参考に、循環型システム社会の構築を目指す、デザインオフィスライン。究極の自然素材を用いたパネルシステムSIANにより「神の宮」写真展を演出。

日本の礎とも言える伊勢神宮と出雲大社において、自然の恩恵・神々への感謝と共に常若と蘇りの文化を伝えて来た遷宮。2013年、伊勢神宮では「第62回式年遷宮」が、出雲大社では「平成の大遷宮」が催行されました。伊勢神宮では20年毎の式年遷宮、出雲大社では約60年毎の大遷宮となり、この両遷宮が重なったのは、1300年の歴史の中で僅か2回、つまり奇跡的なことなのです。

人類絶滅の聲が、SFではなく真実みを帯びて来た現在、これを必然と捉えた増浦行仁氏が、公認で二つの遷宮を撮影しました。両遷宮を追い続けた唯一の写真家です。遷宮の神事を収めた「神の宮」作品集の伊勢神宮編と出雲大社編を同時に公開するのも、今回が史上初となります。

一方、2000年以来、自然を活用した建築を提案して来たデザインオフィスラインは、「神の宮」の真意に共感し、自社が進める、資源循環型システム社会の構築の理念に一致するものとして、本展の額及び什器を提供しています。紙や木の自然素材で作られた什器は、再資源化・再使用可能、軽量で機動性抜群の画期的なものです。

「神の宮」のメッセージとは…遷宮に象徴される日本人の精神性は、アニミズムとして全人類が通底するものであり、一人一人が消費型社会から循環型社会へ、争いから理解へと意識を転ずることで地球環境の再生と世界平和が実現されるということです。

自然との共生共存、寛容と感謝の心を「神の宮」写真展に託し、関西国際空港を起点として世界に向け発信します。

将来世代(子孫)の幸福と、維持可能な社会の実現に向けて、国境を越え世代を超えて、より多くの皆様に「神の宮」のメッセージを伝えて頂きたい、貴局及び貴紙誌にて本展PRのご協力をお願い申し上げます。

■開催概要

1、名称: 伊勢神宮・出雲大社 奇跡のW遷宮「神の宮」増浦行仁写真展

2、会期: 2014年1月7日(月)～1月20日(月)*無休

3、会場: 関西国際空港 (大阪府泉佐野市泉州空港北1番地)

1) 1F ウェルカムボード(映像)

2) 2F KIXギャラリー

3) 4F 翼の広場(循環型空間パネルシステムSIANによる展示)

4、名義:主催／「神の宮」展実行委員会、office MASUURA Inc.

共催／新関西国際空港株式会社

協賛／株式会社デザインオフィス ライン

ライカカメラジャパン株式会社

栄光時計株式会社

ワールド通商株式会社

有限会社VAGRIE

神の宮共働態

協力／日本航空株式会社

三井住友海上火災保険株式会社 大阪北支店

フロンティアジャパン株式会社

株式会社同志舎

瀧株式会社

杭迫柏樹(「神の宮」題字)

5、お問い合わせ／office MASUURA Inc.

TEL.06-6535-7276(木村)、E-mail: kimura@masuura.com

*ご使用になりたい写真につきましては、下記にお問い合わせください。

Office MASUURA Inc. 担当:東 宏純(ひがし ひろすみ)

〒550-0014大阪市西区北堀江1-6-20 アバニテ四ツ橋402

TEL 06-6535-7276 FAX 06-6535-7277 E-mail: labo@masuura.com

■展示作品例

<伊勢神宮>



<出雲大社>



■循環型パネルシステムSIANによる、展示空間の演出

紙の特製を活かしたReduce(廃棄物の発生抑制)、Reuse(再使用)、Recycle(再資源)可能なパネルシステムSIANは、環境に優しい空間素材としてデザインオフィス ラインが独自開発したものです。

繰り返し行われることで過去から未来を繋いできた遷宮の、永久の時間軸に沿えるような額と什器で「神の宮」写真展の空間を演出します。

<SIAN>



■増浦行にプロフィール

1963年生まれ。1981年渡仏。1983年にはVOGUE(Paris)ギィ・ブルダン氏のアシスタントとなる。1987年サロン・ドートンヌ入賞。以後ルーブル美術館、オルセー美術館、パリ近代美術館等の撮影許可を取得。1998年BIBLIOTHEQUE NATIONAL de FRANCE(フランス国立図書館)に作品31点を永久保存される。2002年秋、フィレンツェのカーサ・ブオナローティ(ミケランジェロ美術館)を皮切りに、2003～4年日本国内各地にて『GENESIS』(ミケランジェロ作品集)展開催。2006年より伊勢神宮「第62回式年遷宮」、2007年には出雲大社「平成の大遷宮」の写真家として公式に認定される。現在は、前述の両遷宮に加え、私淑している土門拳の意志を継承し「平成の古寺巡礼」として歴史的な神社仏閣を初め、日本の伝統芸能である「文楽」、「能」にもレンズを向けている。2013年秋より、国内外に於いて遷宮作品集『神の宮』の巡回展開始。今後、21世紀の“眼”としてますますの活躍が期待される。

出版物 / ミケランジェロ作品写真集「GENESIS」
「天狗の棲む山」

関連著書 / 「おれは土門拳になる」(村尾国土著)

ホームページ <http://www.masuura.com/>

■株式会社デザインオフィス ライン

東京都渋谷区神宮前3-32-10 TEL.03-3470-0997 FAX.03-3423-8383

ホームページ <http://d-o-line.com>